

県民の森 植物紹介

⑤⑧ ウダイカンバ (カバノキ科)

漢字では「鵜松明樺」。樹皮に油脂分が多く、生木でも、濡れていてもよく燃えるため、鵜飼で使う松明に使われたことが名の由来。落葉高木。花は5月ごろ、葉の芽吹きと共に咲きます。シラカンバ、ダケカンバと同じ、カバノキの仲間で、大きなハート型の葉は仲間のなかで最大です。材はきめ細やかで美しく、高級家具やフローリング、ピアノのハンマーなどに利用されている最高級品。他のカバノキと区別するためにマカバ（真樺）とも呼ばれています。園内や七滝登山道の随所で見られる、県民の森では身近な木です。



冬芽と花芽 2021年11月24日



花 2021年5月16日



葉 2021年7月3日